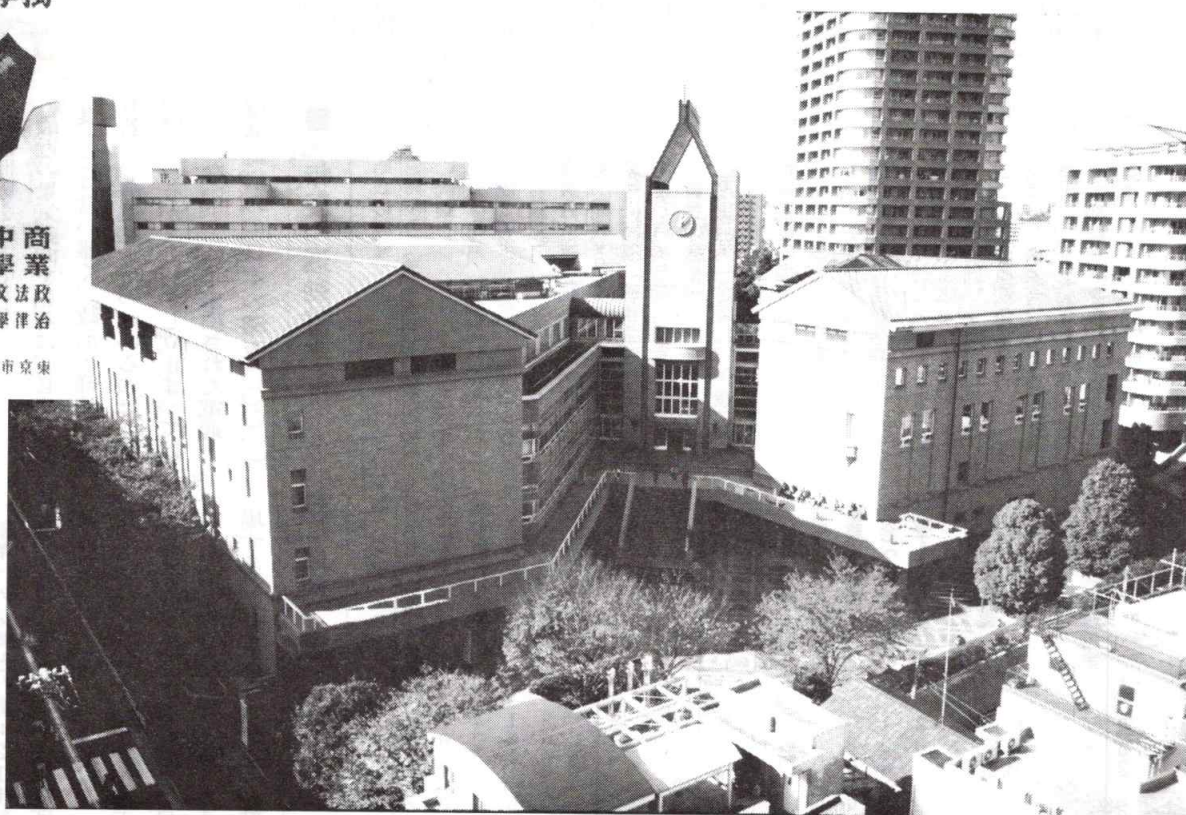


早稲田大学講義
 道近の功成學獨
 商業 中 女
 学 学 学
 政 文 電 建
 治 学 学 学
 田 館 早 部 蔵 出 學 大 田 稻 早 市 京 東

右は総合学術情報センター
上は「講義録」の広告



ふだん着のつきあい、仲間づくり

会長 大西 幸夫

東村山稲門会は早くも設立後五年目に入り、今年の秋には五周年の総会を迎えることとなります。そこで改めて東村山稲門会の存在意義を考え今後の活動の方向を確認したいと思います。

先ず第一は早稲田を縁に生活の基盤である地元東村山市に親しい友人を作ること。企業戦士である大部分の男性およびキャリアウーマンの方々は、東村山市は単に寝に帰るだけのところ、地元での活動が主である奥さま方と違い、近所の人々とはせいぜい挨拶をする程度で、なかなか親しくなれないというのが実情だと思います。

稲門会に入っても、学部も卒年も異なる人々が集まって、簡単に親しくなれるのかと思われませんが、そこは不思議なもので、早稲田出身というだけでなんとなく親近感が持て、見栄も体裁も捨て

ての裸のつきあいが出来直ぐに親しくなれます。

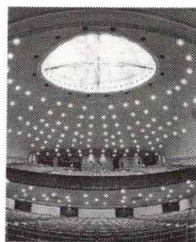
ただし、如何に同窓生とは言っても人はいろいろ、趣味も興味も異なりますから、会員の方々がそれぞれ興味をもてる分野で参加できるようにいろいろな同好会を作っていく必要があると考えています。

また今まで仕事一本槍で無趣味だと言う方、どうぞ思いきってお出かけ下さい、私を含めて結構へばが楽しんでます。次に東村山市の文化向上、街づくりに貢献すること。

人間は他人あるいは社会に役に立つ事をする事で満足感を得る動物だと思います。特に定年を迎えて余力のある方、力を合わせて社会貢献にトライしませんか。何をするかは今後の課題として検討して行きます。

(S 30理工)

目次



大隈講堂内

会長挨拶	会長 大西幸夫	1
総会報告と所感	幹事長 木谷 肇	2
総合学術情報センターについて	小亀輝雄	2
125周年記念事業募金について	井原 徹	3
コラム「回顧と展望」	細淵 昌	3
早稲田ニュース	事務局	3
母校の校章・襟章コレクション	小亀輝雄	4
コラム「パスニップ」	奥山康治	4
稲門会ネットワーク・清瀬稲門会	大西幸夫	4
同好会訪問記 テニス同好会	市川彰彦	5
麻雀同好会	小野 智	5
寄稿「私の健康メモ」	山崎光夫	5
ポストマンくばりある記(2)	三宅良太	5
鼎談「私ならこうする、こう変える」	6~7	
市川暢男・上 幸雄・高柳 剛		
コラム「年のはじめに」	滝川桜子	6
総会パトロール	当間昭治	7
ショート・SHORT	高部素行・野村夏江・柴田元	8
ドキュメント 事務局長の某日	井垣和太	8
事務局のお知らせ	事務局	8
編集後記	スタッフ	8

二十一世紀が始まった！

幹事長 木谷 肇



昨年、十一月二十三日、第五回当

稲門会の総会が市民センター別館

にて総勢約百名のご来席の下、開

催された。第一部は十二回目の雑

学講座「心のやすらぎと音楽」と題

し宮沢正安先生の講演会、第二部

の年次総会は会長挨拶の後、議事

に先立ち大学より安江副総長、当

会会員でもある井原百二十五周年

募金担当部長の挨拶、近隣稲門会

の各代表の目礼、議事として前年

度の活動報告及び会計報告、更に

下記にあるように新年度の活動計

画、予算、新役員の提案がなされ

承認された。第三部の懇親パーテ

ィーは、井垣新事務局長の司会の

下、近隣より清瀬、小平、立川、

東久留米、保谷、武蔵野の代表挨

拶やら、各々同好会の作品発表と

かで盛り上がり、最後は、現役応

援部学生の音頭で、輪になって校

歌斉唱で締めくくったのでした。

一、新世紀を迎えて

最近の景気動向を見るに、必ずしも

「良」とは言い難く、政治・経済的に

も若干の危機感を持っているのは、私

だけだろうか？ しかし立止まっては

いけない。 昨年末出された電通・

電通総研の「日本の潮流二〇〇二」

「00年度 活動計画

1 総会の開催

2 会員例会（講演会および懇親会

3 例会は毎月、原則第一土曜日、

4 午後3時より（於 市民センタ

5 講演会（雑学講座）は文化・教

6 育・環境をテーマとし、原則奇

7 数月に開催。懇親会は例会の後、

8 午後5時より場所適宜

9 役員会の開催

10 原則毎月第一土曜日、午後二時

11 より、於 市民センター会議室

12 新規会員の加入勧誘促進

13 分科会（同好会）活動

14 新規同好会の設置促進

15 既存同好会の活動活性化

16 会員名簿の発行

17 会報およびニュースの発行

18 会報は年一回、1月発行予定

19 ニュースは原則毎月発行

20 花見会、納涼会、旅行会の実施

21 早大百二十五周年事業への協力

22 三多摩稲門会連合会総会を当番

23 幹事として準備

「創革への気概と行動」21世紀を拓

くポジティブシフトを参考に所感を

述べたい。

我々は、新しい風を感じながら正月を

迎えました。街のここかしこで見られ

る「モバイル文化」や、競うように登

場する「グリーン環境商品」が時代の

「00年度 予算

収入の部

前年度からの繰越金

年会費

総会懇親会費

組織強化補助金

125周年募金

寄付等

合計

支出の部

会場費

講師謝礼

事務通信費

会報ニュース等制作費

事務用品費

他会への参加費

大学125周年寄付

会として寄付

総会懇親会費

同好会補助費

その他雑費

予備費（含繰越金）

合計

東村山稲門会役員

会長 大西 幸夫（昭30年理工

副会長 小亀 輝雄（昭34年商

幹事 山下 邦康（昭36年商

幹事 木谷 肇（昭42年商

幹事 井垣 和太（昭37年商

幹事 伊藤 友己（昭51年政経

小野 智（昭30年政経

☆久保 栄二（昭46年法

塩見 之一（昭25年理工

鈴木 国夫（昭35年法

田口 政澄（昭36年理工

当間 昭治（昭43年法

長井 治（昭29年法

☆町田 和夫（昭53年理工

☆高柳 剛（昭52年教育

☆高柳 剛（昭40年文

☆高柳 剛（昭43年法

☆高柳 剛（昭43年法

☆高柳 剛（昭43年法

☆高柳 剛（昭43年法

☆高柳 剛（昭43年法

☆高柳 剛（昭43年法

☆高柳 剛（昭43年法

☆高柳 剛（昭43年法

☆高柳 剛（昭43年法

早稲田大学
総合学術情報センター

この建物は創立100周年の記念

中央図書館施設と国際会議場から

中央図書館は蔵書数二〇〇万冊

年間の利用者は延べ百二十五万人

小亀 輝雄（S34商）



募金担当部長 井原 徹

“お世話になった覚えはないよ” 某校友 “だからこそ自立して今日がある” 井原

業「への取り組みが成功した暁には、きっと皆様の母校はもっと輝きを増していることと思います。」

私は、この創立百二十五周年記念事業の資金となる「記念事業募金」の担当部長としてこのときに早稲田大学で職員をやっていることができる幸せを感じながら、仕事に邁進しています。

勿論、母校への理解の薄い校友も構います。「俺は早稲田大学には一切面倒みてもらわなかった。恩義はない。

だから募金しない。」という校友に代表されます。

でも私はそういう校友には決して声には出しませんが、心でこうつぶやかざるを得ません。

「大学が手を取り足を取り面倒見なかったからこそ、自立して立派な今の貴方があるのではないですか。ご自分の青春時代をなかつたことにするのですか」と。

母校の隆盛の足掛かりを東村山稲門会の皆様と創れたら本望です。(S44法)

事を務めていましたが、最近の出席率が低いことから、この度の総会で任を解いていただきました。

さて、母校早稲田大学は奥島総長の大馬力により、徐々に本来の姿を取り戻しつつある感があります。独立大学の充実、本庄校地の開発、プロジェクト研究所の設置等もさることながら、「第二の建学」「早稲田大学第二世紀宣言」に象徴される「創立百二十五周年記念事

昭和二十一年、大学へ入った頃の東京は、戦災により廃墟と化しどこからでも富士山が見える状態であった。同級生の顔ぶれは、半数以上が復員軍人や、陸海、空の士官学校出身者などで占められていた。角帽に混って、軍服姿の学生も多かった。

当時の学内は終戦により兵役も無くなり、進路を自由に選べるという希望に満ちていた。

その反面戦時中発売禁止になっていた書籍が多種類出版され、各種の思想、イデオロギーの研究集会等が頻繁に開催され、騒然とした雰囲気になっていた。授業料値上げ反対運動では校門にビケラインが張られ、学内に入ろうとする学生を

回顧と展望

細淵 昌

阻止する態勢がとられ、授業ボイコット反対学部の学生については、バツジ判定により通門出来た。あのような混乱の中でも、各学部の自主性が尊重された。

当時から五十有余年、灰燼の中から不死鳥の如く甦えり、世界第二の経済大国となり、物質的豊かさを享受出来る様になった事は夢の様に思われる。反面、日本古来の良き伝統、文化等失われた面も多かった。最近ようやくこれらの点が反省され、憲法、教育基本法の見直しが始まったことは喜ばしい限りである。二十一世紀を迎えるに当り再び力強く羽ばたくために早稲田の杜から進取の精神に富んだ人材が輩出することを願うものである。(S23理工)

WASEDA NEWS

■創立125周年記念事業

「キャラクタ」決定

(2000年10月)



© WASEDA Univ.

熊をモチーフとした漫画家・弘兼憲史さんの作品に決定。「WASEDA BEAR」と命名。イベント、広告媒体、キャラクタ・グッズ等に活用予定

■独立大学院「国際情報通信研究科」設置

(2000年4月)

「情報通信システムコース」「マルチメディアサイエンスコース」「社会環境コース」の3コースを設置。入学定員は修士課程・120名、博士課程17名

■独立大学院「日本語教育研究科」設置

(2001年4月)

世界で活躍する「日本語・日本文化教師の育成」を目指して四月設置(認可済み)学生の半分以上を留学生にする予定

■系属校「早稲田実業学校」移転。(2001年4月)小学校を設置(2002年4月)

■五大学協定締結(2000年11月)

立教大学、日本女子大学、学習院大学、学習院女子大学と単位互換協定を締結。通称「山の手線コンソーシアム」と呼ぶ。

■武蔵野美術大学と学術交流協定を締結

(2000年7月)

■東京女子医科大学と学術交流協定を締結

(2000年3月)

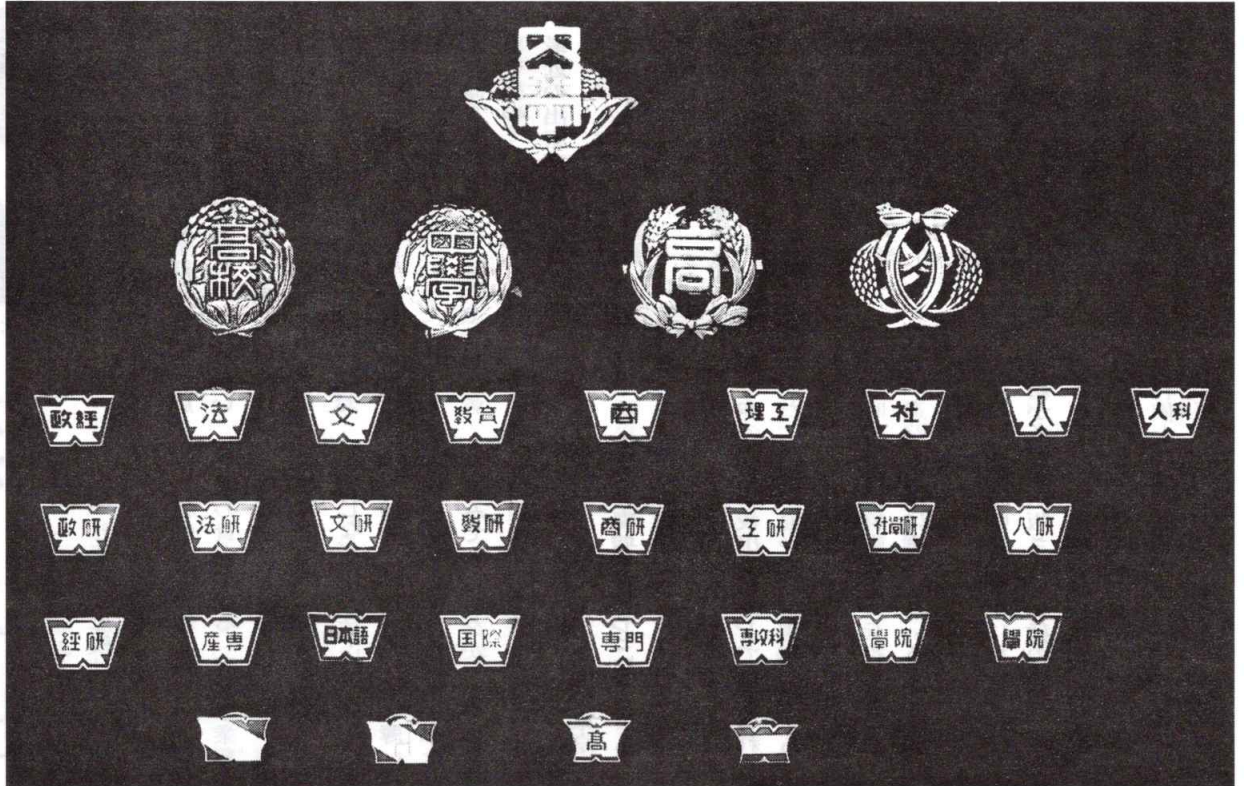
■西早稲田キャンパスがISO14001の認証を取得

(2000年6月)

「春の霞の夢うつつ Wバッジの新入生 大隈講堂 鐘なれば はらり舞い散る八重桜」

【写真説明】

早稲田大学・高等学院・早稲田中学校・高等学校・早稲田実業学校の校章
各学部・研究科・学院・早稲田中学校・高等学校・早稲田実業学校の襟章



「春の霞の夢うつつ Wバッジの新入生 大隈講堂 鐘なれば はらり舞い散る八重桜」と歌われたように、早稲田の襟章は私達の時代には受験生にとっては憧れであり、在学生にとっては誇りであった。現在でも早稲田大学には襟章規定というものがある、新入生全員に配られるが、着用する者はほとんどいない。これは早稲田に限らず他大学生も同じで現代若者気質とも言えるのだろう。こういう風潮を淋しく思い青春の思いをこめて集めた私の自慢のコレクションです。

尚、各学部襟章のうち「人科」とあるバッジは、用字に問題ありとして、配布直前に「人」に変更され、廃棄処分となった幻のバッジです。
小亀 輝雄(S34商)

ねっとわーく 稲門会

おとなりさん

清瀬稲門会

清瀬稲門会は平成九年十一月、東村山稲門会より丁度一年遅れて発足した会です。規模は会員数、市内在住同窓生数共に東村山の半分弱ですが、そのユニークな活動の一つに、中根会長が所蔵するLD(約百枚)を使用して毎月第二日曜日の午後一時半から五時まで開催している「オペラ鑑賞会」があります。

場所は清瀬郷土博物館(清瀬駅北口下車、徒歩十分)の映像資料室で大型プロジェクターを使用して日本語字幕付きの非常に楽しめるライブ上映です。

オペラに興味をお持ちの方は是非一度参加してみてください。一般市民公開で参加費無料(ただし会場費等に二百円のカンパを希望)です。
今年上半期の予定は次の通りです。
二月・ヴェルディ「マクベス」
三月・ロッシーニ「アルジェのイタリヤ女」
四月・ビゼー「カルメン」
五月・ベートーベン「フィデリオ」
六月・ヴェルディ「仮面舞踏会」
問合せ先 清瀬稲門会事務局
〇四二四一九一〇五七二大島宅大西筆

パースニップ(parsnip)という西洋野菜の名を聞かれたことがありますか？ 英和辞典には「パースニップ」通称サトウニンジンとあり、Fine words butter no parsnips (口先ばかりで何の役にも立たない)ということわざが載っています。別の英和辞典には「アメリカカボウフウ」、その葉根食用とありますが、この訳語は不適切です。アメリカ人に何人か聞いてみると、アメリカで食べる人はあまりいな

パースニップ

早稲田大学法学部教授 奥山 康治

ようです。また、イギリスでも葉は食べないようです。色は白、太さは人参の数倍長さは二倍くらいで、独特の香りがあり、イギリス人はオーブンで焼いたりしてクリスマス木のターキー料理のつけあわせの野菜として好むものです。
我が家では、種をイギリスやニュージーランドから取り寄せ、借りている家庭菜園でこれを栽培し、十二月中旬に在日の外国人の知人に配って喜ばれています。(S34文)

会記 好問 同訪

テニス同好会

市川 彰彦

身体にいい健康のためのスポーツという中年になるとたいがいゴルフだと勧められるけれども、ゴルフは一日歩いたってたかだか七キロから十キロだから、下手で右に左にジグザグ走り回るなら運動にもなろうが少し上手くなると疲れなくなり運動の意味がなくな

二〇〇〇年の師走のある日、早稲田の本部キャンパスに所用で出かけてきた。冬休みに入り学生の姿はほとんどなく閑散としていた。数年ぶりに歩く大学は学生時代に比べひどく小さく感じ、ふるさとを小さく思うのと同様の感想である。北風をよけて校舎に入るとパンフレット置き場に山積みされていたのは学生健康保険の月刊案内誌だった。われわれが通っていた頃には考えられないパンフである。学生も健康第一の時代になったように、長い人生を考えると重要な視点といえる。中年真っ最中

西北の風

私の健康メモ

山崎 光夫

の私は先般、ある雑誌に健康保持のための原稿を載せたがその時のメモは万人に役立つのではないかと考え、ここに記してみる。《医者にかかる時の留意点十箇条》

- 一、病状とその経過を簡単にメモして行く。(医者はそのメモをカルテに張り付けるので小型のメモ用紙を使用)
- 二、医者に嘘や隠し事をしない(たとえば、一週間前から熱があるのに二、三日前からと嘘をつく。嘘はいずれ自分に跳ね返ってくる)
- 三、質問したい事項をあらかじめ書いて診察を受ける。
- 四、着衣(上着や下着)は着脱し易い洋服を着る。(前がはだけるタイプが良い)
- 五、日頃の食事、睡眠、排泄の様子とここ数日の様子を伝える。
- 六、その日の食事内容、酒、煙草などの嗜好を話す。
- 七、身長、体重、平常体温とその日の体温を伝える。
- 八、職業的な生活習慣を話す。(たとえば、座業か力仕事か)
- 九、最近のストレス具合(残業や心配事はなかったか)
- 十、処方された薬の効能をよく聞く。メモにとると良い。

(S 45 教育)

るおそれが多い。
テニスの場合比較にならない程運動量は多いが短時間で汗をかき気分爽快、その後のビールももうまいので言うことがない。
稲門テニス同好会のメンバーのプロフィールを全て紹介する紙面はないが、始めたばかりの方と中年で始めた方、若い頃からやってきた方に分別できる。
そうすると、試合になると腕の差がでて面白くないかと言うとそれほどでもない。何故かと言えば試合はダブルスだから何試合もやればちょっと満足のいくショットも1、2回はあるし、それに上手い人がいじわるだったら気後れし

麻雀同好会

小野 智

てもうやめたとなるかもしれないが、そんな事もなく参加していただき安心している。だいたい、私ですら参加しているんだから誰だってコートに見えたら即、出来ますよ。
(S 36 文)

しい大会でした。
会員数約三十名。大会は年四回開催。日曜日の午後から開始。半チャン四回の合計で各自の順位を決定し、優勝杯、準優勝楯と副賞が与えられ、参加者全員に何らかの賞が当たる仕組みになっており、例えばブリー賞は準優勝者と同等の物が用意されます。
下位の雀士の悲嘆を少しでも和らげてあげたいと言ったソフトラディンクを、田口政澄世話人共々心掛けております。競技終了後、表彰式が行われ、商品が授与されるや直ちに懇親会に様変わりして、お互いの選評や大いなる反省、近況、また、他の同好会の話などで、毎回盛り上がり、勝敗など忘れた愉快な会です。
麻雀という暗いイメージをお持ちの方もおられますが、何処かの県警とは違って、当会員は全員ワセタマンの紳士のグループです。ご婦人方を含め、多くの皆さんの参加をお待ちしております。大会参加の必須条件として、快眠、快食、快便に加えて、快飲を心掛けております。

その他の同好会一覧

園芸の会
会員20名 年3～4回開催
世話人 三宅良太 394-5298

郷土史の会
会員30名 年3～4回開催
世話人 三宅良太 394-5298

ゴルフ同好会
会員40名 春秋2回十随時
世話人 井垣和太 396-3100

ウォーキング同好会
会員30名 年2回開催
世話人 町田和夫 394-2438

囲碁将棋の会
会員30名 年6回開催
世話人 江藤 昌明 391-4076

絵画同好会
会員8名 指導陣3名 春秋随時
世話人 塩見之一 395-3718

山とハイキングの会
会員15名 年5回開催
世話人 久保 栄二 396-4577

ポストマン 2

美住町の巻

副会長 三宅 良太



東村山稲門会の役員会は原則として毎月の第一土曜日に開かれ、諸案件を審議し、夕刻終わります。その際、月初めに発行される「東村山稲門会ニュース」が配布されます。これを当稲門会創立当初より各町別に有志の係(ポストマン)の方々が、会員の皆様に宅配いたしております。
小生は美住町を担当しており、通常月例会の後自転車です約三十分かけて十二軒のお宅のポストに投函しております。
最初の頃は場所を探すのに戸惑いましたが、既にまる四年になりますので、コースを決めてスムーズに実施しております。
ご参考までに美住町の謂われは、町域が三角形をしているところから、「三角」(みすみ)。「このことから「美しく住む」という願いをからめて、「美住」という文字が当てられました。

(S 36 商)

る、こう変える

上 幸雄(S47教育)
日本トイレ協会事務局長

高柳 剛(H3社会)
東村山市役所広報広聴課



市川氏

地域との関連はまず「個人」から

様の立場から東村山との関わり方に就いて考えて見たいと思います。

市川 私は、地域コミニティは地域住民が

コミットして行かなければ良い物は出来ないと考えています。市内に稲門会の人がこれだけ居るので

すから、足元の自治会へどんどん入り込んで行って欲しいと思います。

上

地域の住民と行政とがもつと汗をかいて、良好な関係を創り上げていくべきだという事です。

市川

そうです。地域住民が自分たちの手で問題を拾って行かなければ、行政にはどうしても圧力団体の様な声の大きな人の要求だけが届いてしまう構造になっていると思います。

高柳

私は今、市の広報の仕事をしています。市の情報を一般の市民の方に知って頂きそれを元に市民の方の確な判断を下して頂くというのが、一つの大きな仕事な訳ですが、同時に、情報を流した後で市民の意見をいかに行政側に還流していくかも非常に大きな仕事だと思っています。

市川

稲門会が単体で行政や市民に働きかけていくのは難しいと思います

上

す。それよりは個々の会員が縦に横に地元との繋がりを創り上げていくことが大切だと思います。

そうですね。稲門会が旗を振るのではなくて、個々が地元との地味な活動を続けていく中で気が付いたら、ここでも稲門会の人に興味の有る仕事をしていたとわかる方がいいですね。

ネットワークとして稲門会を活用

上

私も地域の中でまず自分達が楽しむことが第一だと思います。その意味でも多くのクラブが活動を続けていくのは素晴らしいことだとも思います。後は「地域のお年寄りとのコネクション」とか「子供達に目を向ける活動」といった今

高柳

いま、小中学校では総合的学習の時間というのが試験的に行われていますが、その中で一般の市民の方々が講師になって子供達と一緒に勉強していくといった事も行われています。例えば七中では、早稲田の大学院の方が子供達と一緒に「東村山の街づくり」について

行政には人材バンクのシステムが有りますから、稲門会に籍を置く人が個人で関わって行く方がいいと思います。個人で関わり合いながら稲門会をネットワークとして活用して、情報を流したり、時に

稲田の大学院の方が子供達と一緒に「東村山の街づくり」について学んで来ましたが、他にも環境や福祉の問題に取り組んだりしています。稲門会の方がそういう活動に積極的に携わっていかれたら良いと思います。会員の人材を活かすという意味でも大切なことです。



年のはじめに

滝川 桜子

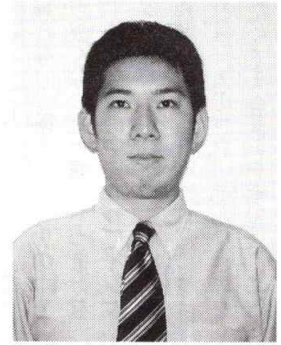
「今の子ども達は、三間（時間・空間・仲間）が無さすぎる。子ども達が非難されることが多いけれど、大半は大人の責任ではないか。」そんなことが、私の頭の中をよぎる。

長男が高校へ入学したことにより、そろそろ自分に目を向けたくなり、早稲田大学心理学会に出かけた。仲間との出会いが、カウンセラーへの取り組みへとつながり、臨床心理士の資格を得た。そして今、公立相談室の教育相談員、中学校で東京スクールカウンセラーとして子ども・先生・保護者と向かい合い、共に考えながら歩んでいる私の感想なのだ。

いよいよ二十一世紀が始まった。まだまだ私のやれることはある。頑張ろうと、エネルギーが湧いてくる。早稲田大学での人間関係豊かな青春時代を過ごせたことが、今迄の私の心を支えてくれ、今又、東村山稲門会を通して二十一世紀に羽ばたこうとする早稲田の息吹が、新たに私にも力を与えてくれる。

わが街、東村山

私ならこうす

出席者：市川暢男(S42商
市川石油社長

高柳氏

り、八国山が有り、川が有る。画一的な街づくりではなく、こういう身近なホッと出来るスポットを残していきたいですね。もう一つは高齢者が気軽に街へ出て行ける環境を整備して、常に社会と関わりを持てる街づくりをしていきたいと思っています。

市川

個人で出来ることは限られています。幸い私は地元で仕事をしてますから横の繋がりが有りますが、これから地域のビジョンを具体的な形でどの様にクリエイティブしていくか、その為の仲間づくりをして行かなければと思っています。

上

では次のテーマ、私なら東村山をこうしたいと言つことをお聞きしたいのですが。

高柳

東村山は、多摩十七市の内で人口は一〇番目なんです、基本的には住宅都市なんです。東村山らしさと言えは歩けばすぐに畠が有

自然と史跡の調和で“東京の鎌倉に

緒になって川の掃除をする、こういう活動にこれからも取り組んで



上氏

上

行きたいと思っています。私は東村山を近郊型自然観光都市にしたいと思います。残された自然を活用し、観光都市をうたいながら実は地元住民がより快適に過ごせる環境を創り上げていく、そうした街にしたいですね。

高柳

それに東村山には国宝の正福寺をはじめ、多摩湖町から出土した瓦塔(東京国立博物館蔵)など貴重な文化財に恵まれていますし、又野火止用水や鎌倉古街道など多くの史跡もありますから歴史都市としての側面もありますね。

市川

なるほど、そうすると自然と史跡を上手に調和させた「鎌倉」のような街づくりも考えられますね。そう、まさに自然歴史観光都市のようなものを目指すとよいかも知れませんね。

上

小平にはグリーンネットワークが有りますが、東村山もグリーンネットワークを整備して、小平と提携するなんていうのも良いと思います。市内には九つもの駅があるのですから、そのメリットをもっと生かせる様な交通網の整備をしたら、高齢者でももっと自由に動き回れる環境が整うのではないのでしょうか。

高柳

そうですね、市内や周辺には大病院も多くありますから、そういった整備が進めばお年寄りや子供にとって安心して住んでもらえるは

上

ずです。色々な場面で稲門会が陰のお手伝いが出来れば良いですね。本日はお忙しい中有り難うございました。

(まとめ・伊藤友己S51政経)

当間 昭治

昨年の総会に都合で参加できなかった私にとって、今回の総会は心待ちにしていた感がありました。いつも時間ギリギリに駆けつける私が、当日は予定の二〇分前に到着、その為か会場の準備はスムーズに進み、時間に余裕を持って設営が出来ました。懇親会の出席者は、会員五十三名・同伴者五名・来賓九名の計六十七名。欠席の予定が都合をつけて参加した人もおり、一年振りの再開に話が弾みました。

会場が目立ったのが同好会のポスター・写真・絵画等でした。私はテニスの世話人なので、パソコンで作成(娘に頼んだ)したポスターを持参。

又、園芸の会の一員として「さき草」の写真を掲示してもらいました。

拙宅で行われた納涼バーベキュー会の写真も飾られ(井垣氏用意)その時の楽しかった



事を思い出しました。懇親会では会員の奥様が準備に力を発揮して頂きました。何と私の奥様もその内の一人です。料理は量はともかく、質の面で多少の不満があっても、会場が市の施設であり、ある程度の我慢も已む無しと思います。

当日は写真担当を命ぜられ、ある先輩は「最初の二〇分も適当に撮って、あとは懇親の輪に入っちゃえば」と言ってくれましたが、そこは生来真面目な私、フィルムを六本使い何とか役目を果たしました。

写真撮りの合間のある地元先輩との出会い、私にとって今後の生活に夢を与えてくれそうでした。

心残りは応援部の学生を加えての二次会で、翌日を考えあまり飲めなかつた事。でも充実した一日でした。

(S43法)



■事務局が移転しました
事務局の住所・電話番号等が変更になりました。

郵便番号 1890011

東村山市恩多町一の二五の二三
電話・FAX 042(396)3100

井垣 和太

■新入会員の皆さん(敬称略)

尾関 彰一 S49 法

風間 和夫 S30 法

デビューは同好会から

高部 素行(S35・理工)

入会して二年、そろそろ顔を出さないで、だんだん出てくくなるぞ。初めてで、手取り早くネットワークが作れるのは、一日中一緒に回れる「ゴルフ」の楽なものではない。

まず、どう繋ぎをこなすかである。九月の「稲門会ニュース」を詳細に読む。井垣さんの「夏休み同好会「ゴルフ」の記事からみると、相当レベルが高かった。少々ヒビル。

意を決して、「ニュース」の封筒にある稲門会のホームページで調べると、当の井垣さんのメールアドレスが有った。

さて、返事はあるかな。期待しつつ

SHORT

今朝のメールを開ける。

「歓迎」のメールだ。第一関門突破。

よろしく御願います

野村 夏江(H5・文)

結婚を機に退職してはや二年余。

その間慌ただしく転居も経験し、生まれ育った千葉を出て東村山市民となり、この二月で二年になります。主婦となり、限られた世界の中で視野が狭くなったと嘆くちっぽけな自分。便利な世の中になってインターネット等であふれる情報を得、知識は独学でも得られるけれど、やはりそれは一人の世界。そんな世界を広げたくて入会させて頂きました。

トーン

会を通して稲門の方々と勿論のこと、地域の方々とも交流できれば大変嬉しく思います。

何でもお手伝いします

柴田 元(S55・文)

平成十年の二月に諏訪町三丁目に越してきました柴田元(S55年一文・文芸卒)です。十一月の総会準備や囲碁・将棋の会、麻雀同好会に出席させて頂きました。先輩方の母校に対する熱い思いに触れ感激いたしました。改めて母校OBの幅の広さと層の厚さを実感しております。

生まれは神奈川県藤沢市です。幼



ドキュメント 事務局長の某日

【午前】10時00分 会報の編集方針打ち合わせのため「雀荘M」へ。午後から麻雀同好会の忘年大会がある。大まかな割付は出来ており、記事の担当を決める。11時45分、別会合のため中座して、久米川駅へ急ぐ。沿線民家の火事のため急行が久米川駅で二十分ストップし遅刻。

【午後】1時20分、有楽町国際フォーラム7階「吉祥」でみちのく会。秋川で探掘した二千五百万年前の化石を肴に飲んで騒いで旧交を温める。4時30分、有楽町からとって返して再び久米川の「雀荘M」へ向かう。5時40分、久米川着。麻雀に縁はないが、後の忘年懇親会への顔出し。ビールももうたくさん心の境だが、勧められると断れない。副会長連が好成績だ。8時00分、胃袋がアルコール付けの状態ですらに小亀さん宅で仕上げ。オンロシイ某月某日。

(井垣和太 S37商)

郵便振替口座 00160-0-112250
郵便口座名義【東村山稲門会】
住所・電話番号・勤務先等の変更は事務局までお知らせ下さい。

編集後記



トンボは複眼の目を持っている。編集者も物事を見る時は複眼で教わる。表だけでなく裏側も見、前からと同時に 後ろからも探るといった按配だ。

「会報」づくりも単眼で見ているとバランスを欠いたり、方向を誤る。硬派の記事があれば軟派も必要だし、公式文の後に一服出来る文章に出会えば「会報」にも厚みが増す。印刷界にはトンボという言葉がある。刷り位置を正確にするため版や原稿に十文字の印をつける。これをトンボという。編集では複眼を忘れず、制作現場ではトンボに気をつける緊張の日々だ。